

# 令和2年度公開講座「すこやかに生きる」

## 新型コロナウイルス感染症の正体とこれからの山梨

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界中で猛威を振るい、重大な健康危機となっています。また、感染拡大防止対策が私権の制限を伴うことから、世界中で日常生活が一変し、経済活動に大きな影響を及ぼしています。

今回は山梨県の入院調整専門家会議の委員でもある本学の附属病院感染制御部の井上修教授が新型コロナウイルス感染症の正体とこれからについて山梨の現状を踏まえてわかりやすく解説します。また、今回「疫学研究」ということばが総理大臣をはじめ様々な場面で登場しました。その専門用語について、社会医学講座の山縣然太郎教授がわかりやすく解説するとともに、感染症に強い山梨の事業環境づくりであるグリーン・ゾーン構想について解説します。

主催・山梨大学医学部

共催・山梨医学会

開催日時	令和2年9月27日（日）13:30～16:00
会場	山梨大学医学部キャンパス（中央市） 臨床講義棟大講義室
対象者	一般市民
演題と講師	「新型コロナウイルス感染症を正しく恐れる」 60分 医学部附属病院 感染制御部 特任教授 井上 修
講演内容	新型コロナウイルス感染症は季節性インフルエンザとは異なり、今のところ予防のワクチンも、治療薬もありません。致命率も高いウイルス疾患です。どのような病気なのか？かかったらどうなるのか？かからないようにするにはどうしたら良いのか？皆さんの一番気になる情報を、感染制御医の視点から解説致します。正しく恐れて、正しく予防して、みんなで元気に来春を迎えましょう。
演題と講師	「新型コロナウイルスと共に生きる」 40分 医学部 社会医学講座 教授 山縣 然太郎
講演内容	人類史上、根絶に成功した病原菌は天然痘だけです。世界中で毎年猛威を振るうインフルエンザはワクチンと治療薬がありますが、日本だけでそれによる超過死亡が1000人以上と報告されています。人類はウイルスと共生するしかありません。本講演では新型コロナと共生する方法について、「新しい生活」と感染症に強い山梨の「グリーン・ゾーン構想」を解説します。あわせて、「疫学」の専門用語をわかりやすく解説します。
質疑応答	司会者及び各講師
司会	健康・生活支援看護学講座 教授 谷口 珠実
コーディネーター	社会医学講座 教授 山縣 然太郎 健康・生活支援看護学講座 教授 谷口 珠実

**【日程、会場、申込方法等】**

- 1 開催日時 令和2年9月27日(日) 13:30～16:00 【受付】13:00～
- 2 会場 山梨大学医学部キャンパス(中央市) 臨床講義棟大講義室
- 3 対象者 市民一般
- 4 募集期間 現在～令和2年9月18日(金) 8:30～17:00(土・日・祝日を除く。)
- 5 募集人員 100名【先着順】
- 6 受講料 無料
- 7 修了証書 所定の課程を修了した方に修了証書を授与します。
- 8 申込方法

- (1)直接来学して申し込む場合：下の申込書に記入して学務課窓口で手続きをしてください。
- (2)郵送により申し込む場合：下の申込書に氏名、住所、電話番号を明記して申込先に送付してください。
- (3)FAXにより申し込む場合：下の申込書に氏名、住所、電話番号を明記して申込先にFAXしてください。
- (4)電子メールにより申し込む場合

氏名、住所、電話番号を明記し下記アドレスに送信してください。

E-mail : [kokaikoza@ml.yamanashi.ac.jp](mailto:kokaikoza@ml.yamanashi.ac.jp)

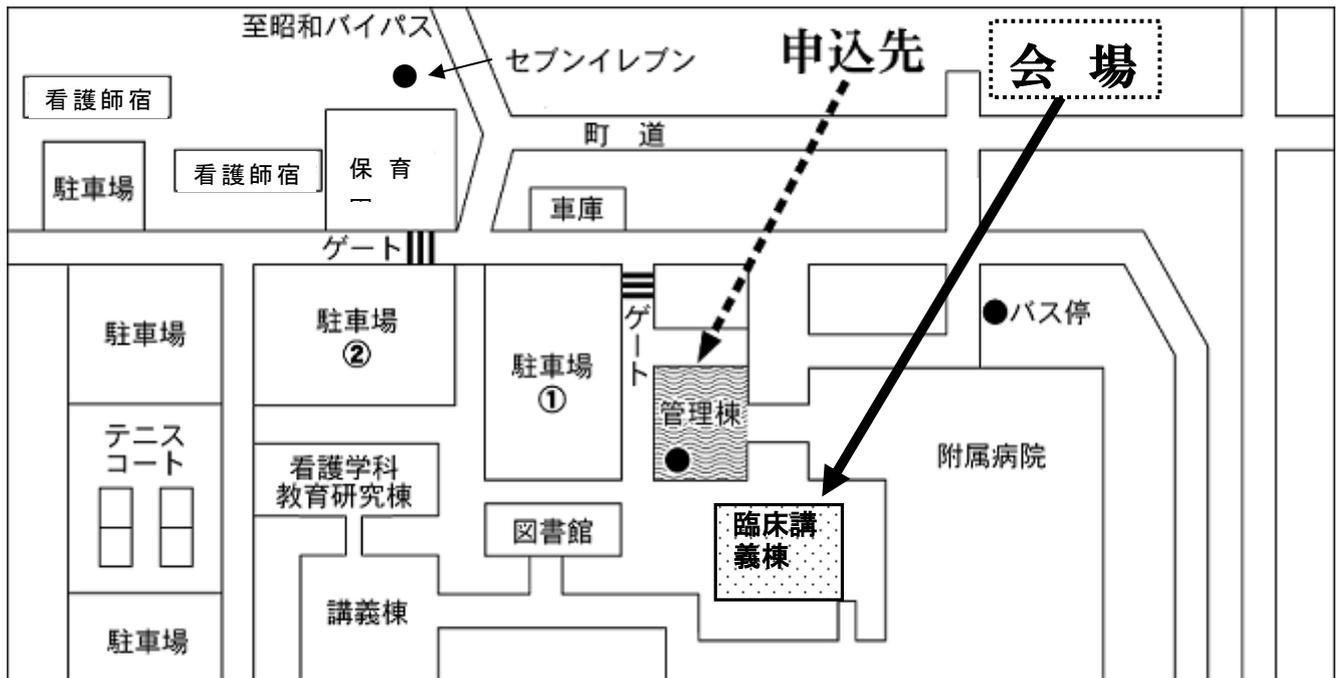
※ただし、メールにより申し込む場合は、題名を「公開講座申込」としてください。

9 申込先及び問合せ先

山梨大学学務課公開講座担当(医学部キャンパス管理棟1階)

〒409-3898 山梨県中央市下河東1110番地 Tel 055-273-9334 FAX 055-273-6742

**【山梨大学医学部キャンパス案内図】 ※お車で越しの方は、駐車場①又は②をご利用ください。**



**令和2年度山梨大学公開講座「すこやかに生きる」受講申込書**

(※印は記入しないで下さい。)

ふりがな		※整理番号
氏名		
住所	〒	※日付
電話番号		